

2 地域における普及活動実績（代表事例）

環境と経営の見直しによる地域振興作物の安定生産 ～土を育て 人を育て すすめる新ひだか町の農業～

◆活動年次：令和3年～令和7年度

（課題番号1）

◆対象：新ひだか町静内東別3農事組合地区（11戸）

1 活動の背景

- (1)活動地域では、地域振興作物の園芸作物（ミニトマト、花きなど）、肉牛（和牛）の生産を行っており、耕種経営ではミニトマト生産が盛んであり、新規参入者、若手経営者、後継者は園芸作物を中心に経営している。
- (2)昨年までの活動で土壌物理性改善に取り組み、肥料価格の高騰により土壌化学性改善への関心が高まっており、緑肥すき込み条件下での土壌化学性変化の確認が求められた。
- (3)地域の担い手からは、品目別の所得や経営状態をより把握したいとの要望があり、所得解析ツールの活用がすすめられている。

2 活動の経過

○環境改善による作物の安定生産

【施肥改善の実施】

緑肥を経年導入しているほ場で、土壌の化学性はどうか変化しているのか

農業者2戸で、

土壌診断

栄養診断

生育調査

結果を農業者と一緒に確認し
追肥量を提案



緑肥後の作物の確認

【透排水性の改善】

緑肥栽培の情報共有



緑肥導入効果を確認

各種排水対策の提案

- ・雨水流入対策（矢板の設置）
- ・暗きょ整備・改修
- ・高畝栽培&ポンプ排水
- ・無材暗きょ施工（カットドレーンmini）

現地研修会



カットドレーンminiの施工

○担い手の経営管理能力の向上

夏季の現地研修会



各自の肥料費・農薬費（ミニトマト）を比較・検討

冬季懇談会・個別経営相談



- 懇談会：コスト低減事例紹介や主要品目の所得寄与度の確認
- 懇談会：経営転換の考え方や、今後の経営方針についての情報交換
- 個別経営診断：所得解析ツールを活用し、個別の経営課題の確認

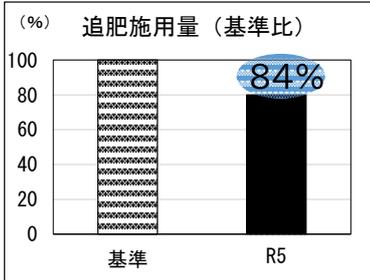
3 成果の具体的内容

○環境改善による作物の安定生産

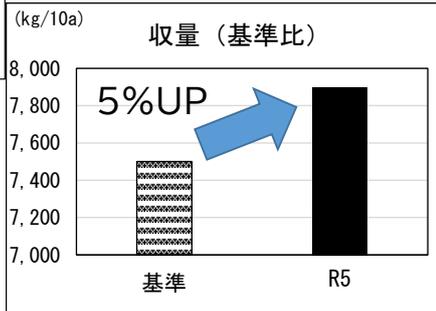
【施肥改善の実施】

土壤診断・栄養診断結果に基づいた施肥管理を2戸が実施

農業者F

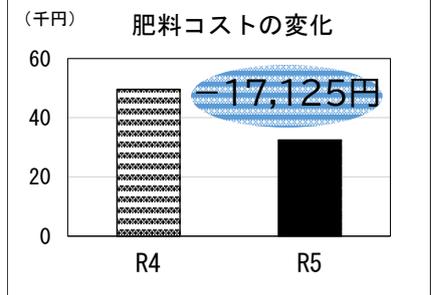


- ▶ 追肥施用量減少
- ▶ 基準比84%



- ▶ 収量 基準比105%

農業者G



- ▶ 養分蓄積の緩和
- ▶ 施肥量の低減
- ▶ 肥料コスト削減

【透排水性の改善】

現地事例を参考に挑戦するか！



ビニル被覆なしの越冬緑肥

暗きょ改修後→生育良好



部会平均収量106%達成！

- ・ 雨水流入対策
→ 春作業の効率化
- ・ 暗きょ整備・改修
→ ピーマンの収量確保
- ・ 高畝栽培&ポンプ排水
→ 浸水被害の軽減
- ・ 無材暗きょ施工
→ 透水性向上を調査確認

緑肥導入6戸→9戸
透排水性改善9戸→10戸

○担い手の経営管理能力の向上

省力化を見据えてロング肥料を活用しようかな



肥料費低減や施肥省力化検討のきっかけに

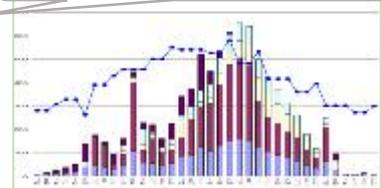
所得解析ツールは6戸→9戸で活用



経営転換の経験談などは、新規就農者にとって参考となる場に

個別経営相談では各自の課題を確認

経営面積拡大と作型の変更を検討中。労働力が心配・・・



労働超過の時期がありそう。主枝切り替え等、労働分散を検討しましょう！

4 今後の対応

- ・ 環境改善による作物の安定生産
暑熱対策や透排水性改善対策の効果確認及び実践に向けた支援
- ・ 担い手の経営管理能力の向上
所得解析ツールの活用により課題や改善策（新規作型や新規作物の導入など）を共有し、取組への支援を行う。